allcinema

アイダよ、何処へ？（2020）

QUO VADIS, AIDA?

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国 ボスニア・ヘルツェゴビナ／オーストリア／ルーマニア／オランダ／ドイツ／フランス／ノルウェー／トルコ
色彩 Color
時間 101分
初公開日 2021/09/17
公開情報 アルバトロス・フィルム
映倫 PG12

【キャッチコピー】
そこに、神はいなかった――

【解説】
「サラエボの花」「サラエボ，希望の街角」のヤスミラ・ジュバニッチ監督が、ボスニア紛争末期に起きた戦後欧州最悪の残虐行為と言われる“スレブレニツァの虐殺”を描き、アカデミー賞国際長編映画賞ノミネートをはじめ数々の映画賞に輝いた衝撃のドラマ。通訳として国連保護軍に協力してきた女性を主人公に、敵対するセルビア人勢力に街を支配され、避難場所を求めて国連施設に市民が殺到する中、家族の命を守るために懸命に奔走する姿を描く。主演は「バーバリアンズ　セルビアの若きまなざし」「鉄道運転士の花束」のヤスナ・ジュリチッチ。
ボスニア東部の街スレブレニツァ。ボスニア紛争末期の1995年7月、ムラディッチ将軍率いるセルビア人勢力は、国連が安全地帯に指定していたこの街への侵攻を開始、たちまち制圧してしまう。やがて避難場所を求める２万人の市民が国連施設に殺到するが、ゲートの中に入れたのはごく一部で、周囲はあふれた人々で混乱状態に。そんな中、国連保護軍の通訳として働くアイダは、夫と２人の息子を施設内に招き入れるためにあらゆる手を尽くす。やがて避難民の引き渡しを要求するムラディッチ将軍に対し、軍事力で圧倒的に劣る国連軍は為す術もなくほとんど言いなりとなってしまうのだったが…。

【クレジット】

監督	ヤスミラ・ジュバニッチ	Jasmila Zbanic	
製作	ダミル・イブラヒモヴィッチ	Damir Ibrahimovich	
	ヤスミラ・ジュバニッチ	Jasmila Zbanic	
脚本	ヤスミラ・ジュバニッチ	Jasmila Zbanic	
撮影	クリスティーン・Ａ・メイヤー	Christine A. Maier	
プロダクションデザイン	ハンネス・ザラート	Hannes Salat	
衣装デザイン	マウゴザータ・カルピウク	Malgorzata Karpiuk	
	エレン・レンス	Ellen Lens	
編集	ヤロスワフ・カミンスキ	Jaroslaw Kaminski	
音楽	アントニー・コマサ＝ラザルキーヴィッツ	Antoni Komasa-Lazarkiewicz	
出演	ヤスナ・ジュリチッチ	Jasna Djuricic	アイダ
	イズディン・バイロヴィッチ	Izudin Bajrovic	ニハド
	ボリス・イサコヴィッチ	Boris Isakovic	ムラディッチ将軍

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ヨハン・ヘルデンベルグ	Johan Heldenbergh	カレマンス
レイモント・ティリ	Raymond Thiry	フランケン少佐
ボリス・レール	Boris Ler	
ディノ・ブライロヴィッチ	Dino Bajrovic	
エミール・ハジハフィズベゴヴィッチ	Emir Hadzihafizbegovic	
エディタ・マロヴチッチ	Edita Malovcic	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.